

## 1 議事日程

[平成26年太宰府市議会 予算特別委員会]

平成26年2月26日

午後 1 時 44 分

於 全員協議会室

- 日程第1 議案第18号 平成26年度太宰府市一般会計予算について  
日程第2 議案第19号 平成26年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について  
日程第3 議案第20号 平成26年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について  
日程第4 議案第21号 平成26年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について  
日程第5 議案第22号 平成26年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について  
日程第6 議案第23号 平成26年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計予算について  
日程第7 議案第24号 平成26年度太宰府市水道事業会計予算について  
日程第8 議案第25号 平成26年度太宰府市下水道事業会計予算について

## 2 出席委員は次のとおりである（17名）

委員長	門田直樹	議員	副委員長	佐伯修	議員
委員	陶山良尚	議員	委員	神武綾	議員
〃	上 疆	議員	〃	芦刈茂	議員
〃	小 畠 真由美	議員	〃	藤井雅之	議員
〃	原田久美子	議員	〃	後藤邦晴	議員
〃	不老光幸	議員	〃	渡邊美穂	議員
〃	小柳道枝	議員	〃	大田勝義	議員
〃	村山弘行	議員	〃	福廣和美	議員
〃	橋本 健	議員			

## 3 欠席委員は次のとおりである（1名）

委員 長谷川 公成 議員

## 4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（19名）

市長	井上保廣	副市長	平島鉄信
教育長	木村甚治	総務部長	三笠哲生
市民生活部長	古川芳文	健康福祉部長	中島俊二
建設部長	辻友治	会計管理者併 上下水道部長	松本芳生
教育部長	今泉憲治	総務課長	友田浩
経営企画課長	濱本泰裕	協働のまち 推進課長	藤田彰
市民課長	宮原広富美	福祉課長	阿部宏亮
国保年金課長	永田 宰	都市計画課長	今村巧児
上下水道課長	石田宏二	教務課長	井上均

監査委員事務局長 関 啓 子

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（3名）

議会事務局長 坂 口 進

議事課長 櫻 井 三 郎

書 記 白 石 康 子

開会 午後1時44分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） ただいまから予算特別委員会を開会します。

本日の予算特別委員会は、各会計の概要説明とし、各委員からの質疑は3月13日、14日及び17日に行います。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 議案第18号 平成26年度太宰府市一般会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 日程第1、議案第18号「平成26年度太宰府市一般会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（三笠哲生） 議案第18号「平成26年度太宰府市一般会計予算について」、お届けしております当初予算書並びに当初予算説明資料に基づきましてご説明をさせていただきます。

平成26年度予算編成の基本的な考え方、あるいは事業につきましては、先ほど市長が施政方針の中で述べましたので、私からは事務的なものにつきましてお配りしております資料で説明をさせていただきます。

まず、平成26年度の予算書についてですけれども、先日の議員協議会でも申し上げましたけれども、総合計画と予算書とのつながりを明確にし、よりわかりやすい予算書にすることを目的といたしまして、予算書上の細目と事務事業と1対1で対応するよう再構築を行いました。また、従来から3桁の細目番号を活用して総合計画における施策番号を明示しておりましたが、今回は細目の名称につきましても事務事業名と基本的に同一の名称に変更をいたしております。このことによりまして平成26年度予算並びに決算からは、施策評価における事務事業の名称や内容も予算書及び決算書上で確認できることになりました。これまで総合計画や事務事業評価と予算書との関連づけは自治体の課題と言われておりましたけれども、今回の改善により市民の方々にもわかりやすく、他の自治体に類を見ないすぐれた予算書になったと自負をいたしておるところでございます。

それでは、当初予算説明資料の1ページをお開きください。

当初予算説明資料で説明をさせていただきたいと思っております。

それでは、ここに1ページに予算総括表と5年間の予算額の推移をグラフとして載せております。

一番上の一般会計です。網かけの部分ですけれども、平成26年度の一般会計予算総額は226億5,688万1,000円となっており、昨年度の当初予算と比較しますと14億6,631万4,000円の増額、率でいいますと6.9%の増となっております。これ以下は、各特別会計となっておりますので、後ほど各担当部長からご説明をさせていただきます。

次に、2ページに歳入の款別内訳を載せております。

まず、1款市税ですけれども、市税全体としましては総額78億1,153万円を計上しております。前年度と比較いたしますと5,806万円、0.7%の増となっております。この内訳は、次ページの3ページの上のほうに載せておりますので、後ほどご参照いただければと思います。

次に、6款地方消費税交付金でございますが、平成26年4月1日から消費税率が引き上げられることに伴いまして、前年度と比較し2億円、37.7%の増額を見込んでおります。

次に、10款地方交付税でございます。地方交付税につきましては国において確定されます地方財政対策を勘案して策定していますが、平成26年度の地方財政対策では地方交付税全体として1%の減額とされています。これに伴いまして本市の地方交付税は平成25年度の決算見込み額をもとに算出した結果、普通交付税が前年度当初予算と比較しまして2,000万円、0.6%の増、同じく特別交付税が5,000万円、16.7%増で見込んでいるところでございます。

次に、14款国庫支出金でございますが、前年度から5億5,812万1,000円、15.8%の増となっております。これは臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金の給付事業を計上したことや、歴史まちづくり関連事業費の増に伴うものでございます。

次に、18款繰入金でございますが、佐野土地区画整理事業基金、総合運動公園整備基金を繰り入れなかったことなどにより、前年度より8,330万1,000円、17.9%の減といたしております。なお、平成26年度につきましても、当初予算で財源不足の補填としての財政調整資金の繰り入れは行ってはおりません。

次に、21款市債でございますが、28.5%増の31億1,960万円で、前年度より6億9,100万円増額いたしております。この増額の主な理由は、平成26年度から建設に着手する総合子育て支援施設の財源となる市債を新たに加えさせていただいたこと、並びに歴史まちづくり関連事業債、史跡地公有化事業債を増額したためでございます。

なお、市債の主なものとしましては、総合子育て支援施設整備事業債が6億2,860万円、道路橋梁事業債が1億5,970万円、歴史まちづくり関連事業債が1億5,100万円、史跡地公有化事業債が10億円などであります。

また、地方交付税の財源不足を補填する臨時財政対策債につきましては、地方財政対策に基づき、前年度より5,700万円、5%の減額といたしております。

次に、4ページをお開きいただきたいと思っております。

今、申し上げました数字を自主財源、依存財源に分けまして、その内訳を明示しております。

次に、歳出のご説明をさせていただきます。

5ページをお開きいただきたいと思っております。

ここには歳出の目的別内訳、6ページには性質別内訳を載せておりますが、説明内容が重複いたしますので、ここでは6ページの性質別内訳をもとに説明をさせていただきます。

一番上が義務的経費です。このうち人件費につきましては、職員人件費の減額などにより前年度に比べて1,484万8,000円の減となっております。

扶助費につきましては、障がい者自立支援給付費、生活保護費などの増額や、保育所の定員増に伴う運営委託料の増額などによりまして1億3,849万4,000円、2.7%の増となっております。

公債費につきましては、太宰府館建設や散策路整備事業関連の市債償還が終了しました。このことによりまして1億160万5,000円、4.1%の減で計上をいたしております。なお、公債費は近年減少傾向であり、下のグラフでもおわかりのとおり、平成22年度当初予算と比較しましても約4億6,600万円の減額となっております。

次に、消費的経費ですが、物件費、維持補修費につきましては、前年度から大きな増減はありませんが、補助費等につきましては臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金の計上、また福岡都市圏南部環境事業組合負担金、筑紫野太宰府消防組合負担金の増額などにより4億5,102万9,000円、15.4%の増となっております。

普通建設事業費につきましては、総合子育て支援施設整備事業費、歴史まちづくり関連事業費、史跡地公有化事業費の増などにより9億691万7,000円、38.5%の増となっております。

最後に、繰出金でございますが、後期高齢者医療関係費や介護保険事業特別会計繰出金などが増額となった結果、7,154万9,000円の増となっているところでございます。

簡単でございますが、歳出については以上でございます。

なお、これ以降、7ページから14ページまで第五次太宰府市総合計画における目標別予算額及び目標ごとの主な事業について、その事業内容と予算額を掲載しておりますので、後ほどご参照いただければと思っております。なお、継続事業と新規事業ということで、新規につきましてはマスキングをさせていただいております。

以上、簡単でございますが、私のほうからのご説明とさせていただきます。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第2 議案第19号 平成26年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第2、議案第19号「平成26年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（中島俊二） 議案第19号「平成26年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算」につきましてご説明を申し上げます。

予算書の247ページをお願いいたします。

歳入歳出予算総額は77億5,126万7,000円となり、前年度当初予算と比較しますと1億8,069万6,000円、率にいたしまして2.4%の増となっております。

次に、252ページの事項別明細書をお願いいたします。

歳入の主なものにつきましてご説明を申し上げます。

1 款の国民健康保険税につきましては、平成24年度の決算額及び平成25年度調定収納状況を参考としまして、法令化などにより加入者の所得が伸びない中、被保険者数も微減傾向にあり、前年度比0.5%減の15億5,708万4,000円を計上しております。

2 款国庫支出金につきましては、高齢化等による保険給付費の増などに伴い、前年度から2.7%増の21億7,227万5,000円を計上しております。

4 款前期高齢者交付金につきましては、65歳から74歳までの前期高齢者の偏在による負担を財政調整するため、被用者保険等から社会保険診療報酬支払基金を計上しまして、市町村国保に交付されるものでございまして、平成25年度の交付状況を勘案し、7.5%増の19億888万2,000円を計上しております。

6 款共同事業交付金につきましては、高額療養費の共同事業に伴う福岡県国民健康保険団体連合会からの交付金でございまして、前年度から4.4%減の8億3,512万9,000円を計上しております。

続きまして、254ページをお願いいたします。

歳出の主なものにつきましてご説明をいたします。

歳出の約7割を占めます2 款保険給付費につきましては、高齢化や医療技術の進歩に伴い医療費が増加しておりますので、前年度から2.3%増の52億6,247万3,000円を計上しております。

3 款後期高齢者支援金等につきましては、75歳以上の後期高齢者医療に係る現役世代の負担する4割に相当するもので、前年度から2.7%増の9億4,915万3,000円を計上しております。

6 款介護納付金につきましては、国保加入者の40歳から65歳未満の介護保険第2号被保険者の介護保険料を納付するもので、前年度から7.8%増の3億8,754万7,000円を計上しております。

7 款共同事業拠出金は、高額療養費に対します保険者間の財政負担の平準化を図るための拠出金でございますけれども、前年度から1.1%減の9億2,159万1,000円を計上しております。

なお、市長が先ほど提案理由で申しましたけれども、平成26年度の保険証の更新時からはこれまでの世帯に1枚の保険証を交付しておりましたけれども、被保険者の方の利便性の向上のため、お一人お一人のカード化を行います費用を計上しております。また、行政サービスと収納率向上を図るため、365日24時間いつでも納付ができるコンビニ収納を開始いたします。

国民健康保険事業は、高齢者や低所得者が多いという構造的課題を抱えており、社会保障構造改革の一環として昨年12月に成立しました持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律によりまして、平成29年度からの財政運営を都道府県単位化などが定められ、国と地方の協議も始まったところでございます。国保は厳しい財政運営が続いておりますけれども、国の動向を十分注視しながら、医療費の伸びの抑制につながるよう、今回健康づくり、生きがいづくり、地域づくりに重点を置きました機構改革を行い、健康づくりの推進及び

医療費適正化を図りながら、国民健康保険事業の運営に努めてまいりたいと考えております。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

### 日程第3 議案第20号 平成26年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第3、議案第20号「平成26年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（中島俊二） 議案第20号「平成26年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算」につきましてご説明を申し上げます。

予算書の287ページをお願いいたします。

歳入歳出予算総額は10億4,085万2,000円となり、前年度当初予算と比較しますと2,266万4,000円、率にいたしまして2.2%の増となっております。

次に、予算書の290ページの事項別明細書をお願いいたします。

まず、歳入の主なものにつきましてご説明いたします。

1款保険料につきましては、平成26年度が2年ごとの会計年度に当たりますことから、前年度と比べまして1.6%増の8億5,707万7,000円を計上しております。

3款繰入金につきましては、当該特別会計の事務費、広域連合の事務費負担金及び被保険者に適用されます保険料軽減額を保険基盤安定制度繰入金として一般会計から繰り入れるものでございまして、前年度から5.6%増の1億8,376万7,000円を計上しております。

次に、同じページの下段の歳出でございます。

本特別会計予算の99%を占めます1款総務費につきましては、保険料、広域連合事務費負担金及び保険基盤安定制度繰入金の増額によりまして、前年度から2.2%増の10億3,485万1,000円を計上しております。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

### 日程第4 議案第21号 平成26年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第4、議案第21号「平成26年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（中島俊二） 議案第21号「平成26年度太宰府市介護保険事業特別会計予算」につきましてご説明申し上げます。

予算書の303ページをお願いいたします。

まず、保険事業勘定歳入歳出予算総額は44億8,928万5,000円となり、前年度当初予算と比較しますと3.4%、1億4,693万1,000円の増となっております。

次に、311ページをお願いいたします。

歳入の主なものにつきましてご説明申し上げます。

1 款の保険料につきましては、65歳以上の1号被保険者保険料9億7,882万円で、被保険者数の増加を見込みまして前年度と比べまして3,948万3,000円の増となっております。

3 款国庫支出金でございますが、前年度より2,170万3,000円増の8億8,810万7,000円となっており、5 款県支出金につきましては2,069万6,000円増の6億4,778万7,000円となっております。

4 款支払基金交付金につきましては、40歳から64歳までの2号被保険者保険料の交付金が主なものでございまして、3,979万7,000円増の12億3,916万7,000円を計上しております。

次に、7 款繰入金につきましては、2,523万5,000円増の7億3,480万7,000円を計上しております。

次に、歳出の主なものにつきましてご説明を申し上げます。

312ページをお願いいたします。

1 款総務費につきましては、職員給与費及び平成27年度から平成29年度までの3カ年の本市第6期介護保険事業計画策定に係る予算、介護認定審査調査等の予算としまして871万2,000円増の1億6,171万1,000円を計上しております。

2 款保険給付費は、歳出の約95%を占めており、居宅介護サービス給付費等の増加によりまして1億4,129万円増の42億6,000万9,000円を計上しております。

3 款地域支援事業費につきましては、304万8,000円減の6,379万4,000円を計上しております。

続きまして、349ページの介護サービス事業勘定の事業別明細書をお願いいたします。

予算総額といたしまして3,196万2,000円を計上しております。

歳入の主なものとしましては、1 款サービス収入は要支援者のケアプラン作成に対します福岡県国民健康保険団体連合会からの収入2,290万6,000円を計上しております。

350ページの歳出でございますけれども、1 款総務費はケアマネージャーの嘱託職員賃金など2,864万4,000円を計上しております。

以上が平成26年度介護保険事業特別会計予算の主な内容でございます。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第5 議案第22号 平成26年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について



○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第5、議案第22号「平成26年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民生活部長。

○市民生活部長（古川芳文） 議案第22号「平成26年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について」ご説明申し上げます。

予算書の357ページから368ページでございます。

まず、予算書の357ページをごらんください。

平成26年度歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ175万6,000円といたしております。

次に、予算書の360ページから361ページの事項別明細書をごらんください。

対前年度比1万2,000円の減額、率にいたしますと0.7%の減となっております。

予算総額が減額となりました主な要因は、公債償還利子の減額により県住宅新築資金等貸付事業利子補助金が減額したことなどによるものでございます。

次に、予算書368ページをごらんください。

公債償還の現在高につきましては、平成24年度末で562万7,000円、平成25年度見込みで439万2,000円、平成26年度では130万1,000円を元金償還見込みといたしておりますので、平成26年度末で309万1,000円となる見込みでございます。

なお、貸付金の償還向上につきましては、今後も個別の現状把握に努め、精力的に家庭訪問を行うなど、償還の促進と県との連絡調整を行いながら滞納者対策を図ってまいります。

以上、よろしく審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第6 議案第23号 平成26年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第6、議案第23号「平成26年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（中島俊二） 議案第23号「平成26年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計予算について」ご説明を申し上げます。

予算書の369ページをお願いいたします。

この特別会計は筑紫地区4市1町で共同設置しております筑紫地区障害支援区分等審査会の事業予算でございます。平成18年度から2年交代で庶務を担当する事務局が担っております。平成26年度からこれまでの春日市から引き継ぎ、本市が事務局となりますことから、今回本市におきまして特別会計を設けるものでございます。本審査会では、障がいをお持ちの方が

障がい福祉サービスを受給する際に障がいの多様な特性や心身の状態に必要とされる標準的な支援の度合いを総合的に示すため、障害者総合支援法に基づき、障がい支援区分を決定しております。

それでは、予算の概要につきましてご説明申し上げます。

本特別会計の歳入歳出予算総額は1,705万1,000円となっております。

まず、歳入の主なものにつきましてご説明を申し上げます。

374ページをお願い申し上げます。

1 款分担金及び負担金の1,244万3,000円につきましては、4市1町からの負担金でございますけれども、平成26年度に各市町で見込まれます審査の対象件数をもとにした件数割と一律に負担する均等割を計上しております。平成26年度につきましては、本市が73件、筑紫野市152件、春日市137件、大野城市126件、那珂川町64件の総審査数552件を見込んでおります。

次に、2 款国庫支出金459万8,000円につきましては、歳出予算のうち補助対象となります経費の2分の1を計上しております。

次に、376ページをお願いいたします。

歳出の主なものにつきましてご説明を申し上げます。

1 款1 項総務管理費は、事務局の業務を行う嘱託職員の賃金、審査会システムの電算委託料、及び各市町をつなぐ専用回線の使用料など1,117万5,000円を計上しております。

次に、1 款2 項審査会関係費につきましては、認定審査会委員の報酬及び費用弁償としまして537万6,000円を計上しております。春日市が事務局を担当しております平成25年度当初予算額1,969万9,000円と比較しまして264万8,000円、13.4%の減となっております。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第7 議案第24号 平成26年度太宰府市水道事業会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第7、議案第24号「平成26年度太宰府市水道事業会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

上下水道部長。

○上下水道部長（松本芳生） それでは、「平成26年度太宰府市水道事業会計予算について」概要の説明をさせていただきます。

今年度は昭和41年以来となる地方公営企業法の大改正に伴いまして、新会計制度に移行しております。その関係で貸借対照表、損益計算書及び新たなキャッシュフロー計算書などの変更箇所が幾つかございますので、そのあたりも若干補足しながら説明させていただきたいと思っております。

それでは、予算書は水色になりますけれども、その4ページをお願いいたします。

実施計画兼事項別明細書でございます。

まず、1款1項1目の給水収益でございますけれども、有収水量の伸びと消費税の改定により前年度に比べ4.2%、約4,730万円の増を予定しております。

次に、2項2目の加入負担金は、前年度比2.1%、約145万円の増となっております。

次に、3目の長期前受金戻入でございますけれども、これは今回の会計制度の見直しによりみなし償却が廃止されたことに伴って新たに設定された科目となっております。今年度は1億7,133万9,000円を計上しております。

次に、5ページの支出でございますけれども、全般的に消費税が影響しておりますけれども、1款1項1目の原水及び浄水費につきましては隔年計上の委託料や修繕費の減少が大きく、約940万円の減となっております。

次に、2目の配水及び給水費が約600万円増加しておりますけれども、これは量水器の取りかえ委託料や電気料金の値上げなどによる光熱費の増加が主なものとなっております。

次に、7ページ、5目の減価償却費が約700万円ほど増加となっております。これは平成24年度に取得した資産の減価償却費が増加したことに加え、みなし償却の廃止も若干ですけれども影響しております。

次に、8ページ、2項3目の消費税及び地方消費税が約860万円の減となっておりますけれども、これは4条予算において仮払消費税の額が増加することによるものでございます。

次に、3項1目の過年度損益修正損は約160万円減少しております。これは今までの不納欠損処分を総係費の貸倒引当金として計上することによるものでございます。

その下の2目、その他特別損失につきましても、会計制度の見直しに伴うものでございまして、過年度分の賞与、法定福利費引当金及び貸倒引当金を計上しているものでございます。

以上、3条予算の収支としましては、プラス2億2,210万円となり、前年度に比べ大幅に増加しておりますけれども、その主な要因は会計制度の見直しに伴う長期前受金戻入と消費税増税に起因するものとなっております。

次に、9ページの資本的収入でございます。

消火栓の新設及び下水道事業に伴う水道管の布設がえ工事負担金で、1,750万円を計上しております。

次に、10ページの資本的支出でございますけれども、本年度は榎寺、五条台を初めとする水道加入促進のための新設工事、それから都府楼南、梅香苑等の布設がえ工事、松川浄水場の施設改良などで、建設改良費につきましては前年度に比べて約1億6,850万円の増となっております。

また、2項の企業債償還金でございますけれども、これは平成22年度から3年間に限り毎年1億円の建設企業債を借り入れております関係で前年度に比べて約840万円の増となっております。

次に、11ページをお願いいたします。

新たに義務化されましたキャッシュフロー計算書でございます。本市におきましては間接法を採用しております。この計算書は、業務活動、投資活動、財務活動の3つの項目に分けて計算することになっておりまして、その合計は下から3行目のマイナス9,123万5,000円となっております。その下の2行が各年度末におけます現金預金残高となります。この1年間は9,000万円余りのマイナスとなっておりますけれども、これは投資活動、財務活動といった、いわゆる建設改良事業の財源を企業債ではなく内部留保資金で賄ったことによるものであり、経営が悪化したというものではございませんので、その点ご理解をよろしくお願いいたします。

次に、19ページをお願いします。

予定損益計算書でございますけれども、今回の会計制度の見直しに新たに2つの項目が追加となっております。3項の営業外収益の(3)長期前受金戻入と、下から2行目、その他未処分利益剰余金変動額でございます。

一番下の行になりますけれども、当年度未処分利益剰余金の額は30億3,565万4,000円と、非常に大きな金額になっておりますけれども、これはみなし償却の廃止に伴うものでございまして、経理上決算においてこの処分を行うこととなりますけれども、実質的に申しますと前年度に比べて約4,700万円程度の増と、金額にして約10億円余りとなる見込みでございます。

次に、21ページをお開き願います。

予定貸借対照表でございますけれども、これも今回の会計制度の見直しにより、流動資産の貸倒引当金、それから流動負債の賞与引当金、法定福利費引当金、及び負債の部に繰延収益という科目が新たに追加されております。

また、これまで資本の部で掲示しておりました借入資本金を負債の部に移行することになったことなどが大きな変更点でございます。

貸借の金額といたしましては、前年度に比べて5,300万円ほど減少が見込まれて、総額で121億376万1,000円となる予定でございます。

以上で概要説明を終わりますけれども、12ページから14ページにかけて給与費明細書、15ページに債務負担行為に関する調書、また16ページ、18ページにかけて平成25年度の予定損益計算書と予定貸借対照表、それから最後に22ページ、23ページに今回の会計方式等に関する注記等を添付いたしております。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第8 議案第25号 平成26年度太宰府市下水道事業会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第8、議案第25号「平成26年度太宰府市下水道事業会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

上下水道部長。

○上下水道部長（松本芳生） それでは、市長の提案理由説明と重複する部分につきましては割愛をさせていただきます、4ページの実施計画兼事項別明細書から、その主なものについてご説明を申し上げます。

まず、収益的収入で1款1項1目の下水道使用料でございますけれども、今回の平均7%の引き下げを行いますことや、消費税率の引き上げ、また有収水量が若干伸びると予測しております、対前年度比で約3,200万円減の11億7,521万1,000円と見込んでおります。

1項2目の他会計負担金と2項2目の他会計補助金は、国の繰り出し基準に基づく一般会計からの繰入金でございます、合計で4億1,548万5,000円を予定しております。

次に、3目の長期前受金戻入につきましては、先ほど水道事業会計でもご説明いたしましたように会計制度の見直しによるものでございまして、本年度は2億5,350万5,000円を計上しております。

次に、5ページからの支出でございますけれども、1款1項の営業費用が前年度に比べて約1億8,400万円の増となっております。

これは、次のページ、6ページの5目減価償却費になりますけれども、みなし償却の廃止に伴って増加したことが主な要因となっております。

次に、2項の営業外費用でございますけれども、これは企業債償還の利息の減少が大きく、約8,100万円の減となっております。

次に、7ページの3項特別損失が約3,200万円増加しておりますのは、過年度分の貸倒引当金繰入額などによるものでございます。

次に、8ページをお願いします。

資本的収入の総額は6億7,658万7,000円で、前年度比5億1,218万円の減となっております。これは建設改良費の減少に伴って企業債や国庫補助金が減少したこと、及び内部留保資金の今後の推移等を勘案いたしまして資本費平準化債を発行しないこととしたことが主な要因でございます。

次に、9ページの資本的支出でございますけれども、総額は16億1,231万1,000円で、前年度に比べて3億6,688万3,000円の減となっております。この主な要因といたしましては、平成23年度から3カ年事業で行いました奥園雨水幹線工事の予算計上が前年度で終了しましたことや、企業債償還のピークが過ぎ、元金償還金が減少したことなどによるものでございます。

なお、本年度は主な建設改良事業といたしまして、北谷、内山地区の雨水整備、芝原、陣ノ尾の雨水幹線整備などを予定しております。

以上で概要の説明を終わりますけれども、水道事業と同様に11ページ以降に財務諸表を添付しておりますので、後ほどごらんいただきたいと思います。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

以上をもちまして各会計の概要説明は終わりました。

次回は、3月13日木曜日午後2時から再開します。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） これをもちまして本日の予算特別委員会を散会します。

散会 午後2時25分

~~~~~ ○ ~~~~~